

テレメトリブローカーノードでのパケットキャプチャの実行

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Telemetry Broker(CTB)ブローカーノードでパケットキャプチャを実行する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 基本的なLinux管理
- 基本的なCisco Telemetry Brokerアーキテクチャ
- SSHの基本的な知識
- パケットキャプチャの実行に必要なコマンドラインインターフェイス(CLI)アクセス

`adminroot`。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、バージョン2.0.1を実行しているCTB Brokerノードに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

CTBブローカノードには、ブローカノードのテレメトリインターフェイスからネットワークキャプチャを実行するために使用される`ctb-pcap`というツールがあります。このツールは、CTB Manager Nodeでは使用できないことに注意してください。

コマンドを使用する前に`ctb-pcap`、最初にコマンドを使用して`root`ユーザに切り替えて`sudo su`ください。このツールは、ユーザだけが使用でき`root`ます。

このツールで使用可能なオプションを表示するには、BrokerノードのCLI`ctb-pcap --help`でコマンドを実行します。次の図に、オプションの完全なリストを示します。

Cisco Telemetry Broker Packet Capture Tool

This tool can be used to capture packets that fit a specific filter criteria that are specified using the Packet Type and the OPTIONS below.

NOTE: The following options are required and MUST be specified.

-n, --num-pkgts
-t, --max-duration
-o, --output-file

Usage: ctb-pcap OPTIONS <packet type> [<packet type>] [<packet_type>] ..

<Packet Type>

This specifies the direction/status of packets and can be one of the following:

rx Receive packets
tx Sent packets
drop Dropped packets

OPTIONS

-v, --ip-version <ip version>
The IP version of packets to capture. It can be either ip4 or ip6.
Default: ip4

-s, --src-ip <source ip address>
The source IP address of packets to capture. In Address/Mask format.
E.g. 10.0.81.10/24.

-d, --dst-ip <destination ip address>
The destination IP address of the packets to capture. In Address/Mask format. E.g. 10.0.81.10/24.

-p, --src-port <port>
The source port number.

-P, --dst-port <port>
The destination port number.

-n, --num-pkts <count>
The number of packets to capture.

-t, --max-duration <seconds>
The max duration in seconds after which capture will stop.

-o, --output-file <path>
File to send output to (default is stdout).

-V, --verbose
Print verbose output when the tool runs.

-h, --help
Show this help screen.

CTBパケットキャプチャツールで利用可能なすべてのオプション

出力が示すように、キャプチャされたパケットの数、秒数、およびパケットキャプチャ出力

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。